

いわき農林事務所ニュース

2008年 5月号



◎活動状況

- [いわき地方防霜対策会議を開催](#)
- [山火事防止パレードを実施](#)
- [夏井小学校 田んぼの学校「開校式」「種まき、ぼかし肥播き」](#)

◎トピックス

- [平木材市場創立50周年記念市開催](#)
- [「緑の募金」街頭募金活動実施](#)

活動状況

○いわき地方防霜対策会議を開催

4月4日（金）、県いわき合同庁舎において「平成20年度いわき地方防霜対策会議」が開催され、いわき地方防霜対策本部（本部長：高坂 進・県いわき農林事務所長）が5月31日までの約2カ月の期間で設置されました。本年は2月まで平年並みに寒い日が続いたものの、3月に入り一転して気温の高い日が続いたため、果樹を中心に農作物の生育が一気に進んでいることから、例年になく凍霜害を受ける危険性が高いことが説明されました。会議では、農作物の凍霜害を未然に防ぐため、霜に関する情報の伝達方法や被害発生時の被害状況の把握、各作物の防霜対策技術などについて協議し、防霜対策に係る関係機関の役割を確認しました。

会議終了後、県いわき農林事務所農業振興普及部に「いわき地方防霜対策本部」の看板が設置され、防霜対策がスタートしました。



防霜対策本部がスタート

○山火事防止パレードを実施

4月10日(木)と4月24日(木)の2日間にわたり、いわき市内4方部で、いわき地方山火事防止対策協議会の主催による山火事防止パレードが実施されました。

毎年春先は、山火事の発生しやすいことから、いわき市、いわき市消防本部、磐城森林管理署、いわき市森林組合、いわき地方振興局、県農林事務所など関係機関が参加して、いわき市内の各地をパレードするとともに、スーパーの店頭でチラシ配布を行い山火事防止を呼びかけました。

山火事は、空気が乾燥しやすく入山者が多い時期に多発していますが、その原因のほとんどはタバコの投げ捨てやたき火の不始末など、人の不注意によるものです。

森林は大切な自然財産であり、私たちの生活に潤いと安心を与えてくれることから関係者一同これからも継続して山火事防止の普及啓発に努めてまいります。

今年の山火事防止の統一標語は、「山火事は 地球の未来も 燃やします」です。皆様の御協力をお願いします。



店頭での山火事防止のPR

4月21日(月)、「いわき市立夏井小学校」で「うつくしま田んぼの学校」が開校し、第一回

活動「開校式、種まき、ぼかし肥播き」が行われました。

夏井小学校での「田んぼの学校」は、今年が初年度。開校式では、対象児童である5年生19名が田んぼの学校の目的などを学んだ後、これから一年間、お米づくりをサポートしてくれる地元の方々と顔合わせを行い、共同手作業でお米づくりを行うことを誓いました。

開校式後は、早速、初回作業である「田植えの準備」＝「種まき」、「ぼかし肥播き」を行いました。

「種まき」では、はじめに今年の植付け品種「黄金もち(もち米)」の特性について農業普及員から説明を受けた後、地元応援団の実演指導を受けながら、種まきを実施しました。児童達は、慣れない手つきながらも丁寧に作業を行いました。

また、種まき完了後、地元応援団のハウス見学を行い、種まき後の生育管理である「芽だし・育苗」について学びました。

「ぼかし肥播き」では、肥料の意味、肥料の3要素「窒素、リン酸、カリ」など土づくりの重要性について地元応援団から説明を受けた後、まだ冷たい水田に素足でぼかし肥を播きました。

今回の活動では、稲の品種特性や育苗方法、肥料の科学的説明など難易度の高い内容が多くありましたが、児童達は興味深く熱心に説明を聴き作業を行っていました。米づくりは田植えが始まりでなく、準備が始まりであること、そして、その重要性を理解してくれたことと思います。

夏井小学校は、水田に囲まれた自然豊かな地域にあります。児童達はごく自然に田んぼと接しふれあってきたことと思います。そんな夏井小学校児童が「田んぼの学校」を通じ、より田んぼや田んぼをとりまく周辺環境に対し理解を深めてもらうと共に、田んぼの学校を支えてくれる多くの地元の方々への感謝を通じ、感謝する心を育ててくれればと思います。



作業の様子

トピックス

○平木材市場創立50周年記念市開催

株式会社平木材市場の創立50周年記念市が、4月17日(木)にいわき市内郷綴町にある同市場で行われました。

記念市には、ケヤキ、スギなどの優良材が多く産出され、通常の市の約2.5倍にあたる素材3,000m³、製品500m³が入荷されました。当日は天候に恵まれ活気に満ちた競り売りにより、樹齢300年を超えるケヤキが、1m³当たり35万円の高値で取引されるなど、入荷した木材は完売し、創立50周年を祝うにふさわしい市となりました。



ケヤキ競りの状況

また、記念市のあと内郷館にて、関係者ら約100人が出席して、創立50周年の記念祝賀会が開かれました。祝賀会では、半世紀にわたる市場の歴史の紹介と、市場の発展に貢献した特別功労者、特別協力者ら49団体・個人が表彰されました。

○「緑の募金」街頭募金活動実施

4月29日(火)、いわき市緑化推進委員会の主催による「緑の募金」街頭募金活動が、「いわき・ら・らミュウ」周辺において実施されました。この募金活動は、毎年4月1日～5月31日の「緑の募金運動推進期間」に実施されているもので、今年はいわき市立藤原小学校緑の少年団の皆さん19名と「サンシャインガイドいわき」2人のほか、磐城森林管理署、いわき市森林組合及びいわき農林事務所の協力により、「温暖化 緑で止めよう 未来のために」をテーマに行われました。



街頭募金活動の様子

当日は、清々しい青空もとで、子ども達の元気な呼び掛けに多くの人々が募金をされ、沢山の善意が集まりました。また、募金をいただいた方々には、緑の羽根のほか、花の苗や苗木が配られました。

これらの花々は、いわき地区の緑の一員として、今後私たちの暮らしの中に美しい彩りと潤いを与えてくれることでしょう。

◀ もどる

すすむ ▶

[[▲Top](#) | [福島県トップページ](#) | [いわき農林トップページ](#)]